

秋田市議会 政策研究会 様

2024年6月28日(金) 10:00-11:30

フィルムコミッションによる地域の活性化

ご説明資料

秋田フィルムコミッション研究会 (AFC)
荒牧 敦郎



目次

| | | |
|----|----------------------------------|----|
| I | フィルムコミッションとは何でしょうか？ | 1 |
| 1 | フィルムコミッション（FC）とは何でしょうか？ | 2 |
| 2 | フィルムコミッションの歴史・活動状況 | 3 |
| 3 | 秋田フィルムコミッション研究会について | 4 |
| 4 | ロケツーリズムとは何でしょうか？ | 5 |
| 5 | 秋田県のロケツーリズムへの取り組み | 6 |
| 6 | あきたロケ支援ネットワークの活動 | 7 |
| 7 | 「秋田県フィルムコミッション」が必要な理由 | 8 |
| II | 秋田市にフィルムコミッションを！ | 9 |
| 1 | フィルムコミッションについての3つの誤解 | 10 |
| 2 | フィルムコミッションのその先へ－映像産業の振興－ | 11 |
| 3 | 「秋田市フィルムコミッション」を核にして地域を活性化しましょう！ | 12 |
| ◎ | 参考資料、連絡先 | 13 |

I フィルムコミッションとは何でしょうか？



1 フィルムコミッション（FC）とは何でしょうか？

- フィルムコミッション（FC） = 映像作品のロケーション撮影を支援する非営利・公的組織

【目的】 地域活性化、地域振興

【組織形態】 多くは行政と民間の協力体制

【活動内容】 ※FCにより内容は異なる

- ① ロケ撮影の誘致・プロモーション ～映像素材、ロケ地情報の提供など
- ② ロケ撮影の支援
 - a 情報提供
～ロケ地（地図、撮影条件など）、宿泊、食事、機材、レンタカー、撮影許可に関する情報
 - b 直接的な支援
～警察署などへの撮影許可手続きの支援・代行、ボランティア・エキストラの手配、シナリオハンティング、ロケーションハンティング、ロケ撮影への同行、地域への説明会の実施など
★ 作品制作・ロケ撮影への助成
- ③ 支援した作品を活用した地域活性化
～上映会、支援した映像作品を活用した観光誘客

- ロケ撮影によって地域にどんなメリットがあるのか？

- ① 1次効果（直接効果） ～ロケ隊が地域に滞在し撮影を行うことによる宿泊、飲食、交通などの需要発生
- ② 2次効果（間接効果） ～作品公開による誘客効果、地域のイメージアップ = 「地域ブランド」の創造

- FCの意義

FCがあるとロケ誘致に有利 = FCがない地域はロケ誘致に不利

→ 現在は、FCがあることが「当たり前」

2 フィルムコミッションの歴史・活動状況

● フィルムコミッションの歴史

1940年代：アメリカでFCの歴史が始まる。ハリウwoodsの要望に応え各地の自治体がFCを設立

1990年代：カナダ、イギリス、オーストラリアなど世界各国にFCが広がる

2000年2月：大阪ロケーション・サービス協議会（現・大阪フィルム・カウンシル）設立 = 国内 F C 第 1 号

2002年12月：かくのだてフィルムコミッション設立 = 県内 F C 第 1 号

● フィルムコミッションの活動状況

【国内】

・日本国内で約350のFCが活動

対象地域：都道府県、市町村、広域（県をまたぐFCも）

組織形態：行政～都道府県・市町村の観光セクション、民間～商工会議所、観光物産協会、NPO…など

・「特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション（JFC）」 = 国内 F C の連絡機関

加盟正会員 ～地域FC：123団体、関係団体：13団体

活動内容 ～映像作品の製作支援、FCや映像関係者の人材育成支援

・ロケ撮影を行う作品の増加：2000年・282本 ⇒ 2018年・613本（2.2倍）

【秋田県内】 ※JFC加盟FC

・[かくのだてフィルムコミッション](#)、[だいせん大曲フィルムコミッション](#)、[能代フィルムコミッション](#)、[よこてフィルムコミッション](#)

にかほ市フィルムコミッション、ロケーションかつの

※ かくのだてフィルムコミッション代表・坂本洋氏（民間）は、JFC理事

・ロケ誘致に関する連絡調整組織：[あきたロケ支援ネットワーク](#)（秋田県観光文化スポーツ部 誘客推進課）

3 秋田フィルムコミッション研究会について

- 秋田フィルムコミッション研究会（AFC） ホームページ：<https://afc.akitalink.com>

【目的】

本会は、秋田県内において、映像作品の上映や制作および映像作品のロケ撮影の誘致や支援を通して、地域の文化的、経済的な活性化をはかることを目的とする。

【主な活動内容】

- ① フィルムコミッションの設立および稼働を働きかけ、支援する活動
- ② 秋田県内に映像作品のロケ撮影を誘致し、支援する活動（FCとしての活動）

- AFCの活動経緯 ≡ 秋田県におけるFCを巡る初期の経緯

- ・2001年5月 秋田経済研究所の「あきた経済」にレポート「秋田にフィルムコミッションを」を掲載（荒牧）
～国内第1号FC設立（2000年、大阪）の翌年
- ・2001年10月 秋田県産業経済労働部観光課主催「フィルムコミッションセミナー」開催
～映画監督・若松孝二氏、FC設立研究会事務局長・君島美智子氏によるトークショー
※当時の県の方針：各市町村等に設立を働きかけていく、「秋田フィルムコミッション連絡協議会」を設置し県が事務局を担当
- ・2001年11月 秋田商工会議所青年部・顔づくり委員会「秋田における映像文化の可能性」
～パネラー：TV映画監督・若松節朗氏（河辺町出身、『ホワイトアウト』）、映像ディレクター・那珂静男氏
- ・2002年5月 秋田コメディ映画祭（金浦）においてフィルムコミッションセミナー「秋田ハリウッド化計画」開催
～パネラー：那珂静男氏、角館町商工観光課課長補佐・佐藤強氏（「たそがれ清兵衛」角館ロケ対応）など
- ・2002年6月 角館町フィルムコミッション設立準備委員会開催
～荒牧、オブザーバー参加
- ・2019年4月 あきたロケ支援ネットワークに入会

4 ロケツーリズムとは何でしょうか？

● ロケツーリズム（スクリーンツーリズム、フィルムツーリズム）

= 映像作品（映画・ドラマ・アニメ）のロケ地を観光資源として活用した体験型観光

※ 聖地巡礼 ～秋田内陸線・前田南駅「君の名は。」（2016年）

能代市・能代科学技術高校、由利本荘市・森子大物忌神社「THE FIRST SLAM DUNK」（2022年）

★ ロケツーリズム = ロケ撮影による「**2次効果**」

● ロケツーリズムの例

① 「冬のソナタ」（韓国TVドラマ、2002年）主演：ペ・ヨンジュン

⇒ 韓流ブーム発生、日本からのロケ地ツアーが人気

経済波及効果（日本・韓国において）2,300億円（第一生命経済研究所）

② 「アイリス」（韓国TVドラマ、2009年10月～）主演：イ・ビョンホン、キム・テヒ

～仙北市、秋田市、横手市、男鹿市などでロケ撮影

⇒ 2009年11月後半から韓国から秋田への旅行者が急増、県内でロケ地巡りをする旅行者の姿が見られるように

秋田・ソウル定期便の韓国人搭乗者（2009年11月～2010年2月）～前年同期比3.5倍

韓国からの宿泊客数（延べ人数、2009年10月～2010年9月）～前年同期比2.3倍

経済波及効果（秋田県内）3億7,500万円（あきぎんリサーチ&コンサルティング）

⇒ 作品がヒットすれば、ロケツーリズムの効果は大きい！



秋田県「ロケ地を巡る旅マップ」

5 秋田県のロケツーリズムへの取り組み

● 2008年 「アイリス」の誘致、ロケ支援

秋田県産業労働部観光課～「秋田ソウル国際定期便」の搭乗率低迷 → 「アイリス」を誘致・ロケ支援

- ・「韓国交流推進監」ポストを設置、インバウンド対策の一環でアイリス誘致 ～韓国制作会社訪問、秋田でのロケハンティング支援
- ・2009年「アイリス」秋田ロケ支援委員会を立ち上げ ～官民一体による手厚いロケ支援
(例) かくのだてフィルムコミッション～エキストラ手配、ロケーションハンティング、衣装手配（紋付袴）
- ・2013年、続編「アイリス2」のロケを誘致・県市町村合わせ8,000万円超の予算で支援するも大きな効果出ず

● 2016年 タイのTVドラマ制作

秋田県観光文化スポーツ部観光振興課～「タイにおける秋田ブーム創出事業」

- ・角館、乳頭温泉郷、小安峡などを舞台とするドラマ、ストーリー：「タイの青年が留学中のタイ人女性と恋に落ちる」
- ・秋田ケーブルテレビがタイの制作会社と共同で制作

● 2016年 「NHK連続テレビドラマ」秋田県誘致推進協議会の設立

秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課

- ・大河ドラマ、朝の連続ドラマ～放送スパンが長い→ 観光誘客等による経済効果数十億円規模…「雲のじゅうたん」「まんさくの花」
- ・秋田県、25市町村、経済団体で「『NHK連続テレビドラマ』秋田県誘致推進協議会」を設立
- ・各市町村からドラマの材料となりそうなコンテンツを提案、NHKにドラマ誘致の要望書を提出

● 2019年 「あきたロケ支援ネットワーク」発足

- ・「NHK連続テレビドラマ」秋田県誘致推進協議会」の規約改正に基づき発足 ～実務担当会議としての位置づけ
- ・会員：25市町村・経済団体、FCなど ※秋田市～観光文化スポーツ部観光振興課
- ※ 秋田フィルムコミッション研究会も入会

6 あきたロケ支援ネットワークの活動

● あきたロケ支援ネットワークの概要

【目的】

ネットワークは、県、市町村、関係団体等が連携・協働し、本県の魅力ある素材についての情報収集、集約、整理を行い、並びにメディアに向け積極的な情報発信及び提案活動を行うとともに、県内におけるロケ等の受入体制の整備等を進め、本県がメディアで取り上げられる機会の拡大を図る。

【会員】 事務局含め48会員

- ・行政関係：秋田県、25市町村の観光・産業振興セクション、秋田県市長会、秋田県町村会
- ・経済団体：商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体連合会、観光連盟、秋田銀行…など
- ・文化団体：秋田県芸術文化協会、秋田県演劇団体連盟
- ・F C：よこて、かくのだて、かづの、大仙おおまがり、能代、にかほ市、秋田フィルムコミッション研究会

【事務局】 秋田県観光文化スポーツ部誘客推進課

● あきたロケ支援ネットワークの活動内容

【事業】 …規約の内容

- ・題材となり得る地域コンテンツの収集、集約、整理
- ・メディアに向けたWEBや素材集等を活用した情報発信及び提案活動
⇒ Webサイト・美の国あきた内「ヌーベルあきた」～自然、景観、食文化、伝統芸能・祭り、工芸品などの映像を発信
- ・ロケ誘致支援等の研修会開催、会員相互の連絡・連携体制づくり
- ・「NHK連続テレビドラマ」秋田県誘致推進協議会の活動推進及び調整
- ・その他、必要な活動
- ★実質的なロケ支援活動（規約には明記されていない）
～（例）「ヌーベルあきた」でのロケ撮影の「ボランティア募集」の案内
- ★JFC（ジャパン・フィルムコミッション）に地域FCとして加盟

7 「秋田県フィルムコミッション」が必要な理由

● なぜ、「秋田県フィルムコミッション」が必要か？

①秋田県全体を対象とする窓口が一本化される

⇒ 映像制作者はまず秋田県FCに連絡すればよい → 秋田県FCから、地域FC・市町村に対し連絡・調整

②全国47都道府県のうち3分の2以上で都道府県単位のFCが活動 ～県単位のFCがないことは大きな遅れ

● 「あきたロケ支援ネットワーク」はフィルムコミッションか？

①FCとしての面

・JFCに「地域FC」として加盟

・「ロケ撮影の誘致・プロモーション」を行っている ～「ヌーベルあきた」による情報発信

②FCとして不足している点

・市町村の担当セクション、各FCの連絡調整が主な活動

・ロケ支援活動を本格的には行っていない（規約の「事業」にない）

● 「秋田県のフィルムコミッション」として本格的に活動するには？

① 名称に「フィルムコミッション」と明記する ～「秋田県フィルムコミッション」⇒ 映像制作者に対しアピールできる

② 独自のサイト・連絡先を設定 ～現在、「ヌーベルあきた」は美の国あきたのサイト内、電話・FAXも誘客推進課と共通

③ ロケ支援機能を強化する ～全県のワンストップ窓口 ⇒ 地域FC、市町村とのロケ支援の連携強化

④ 映像作品を活用した地域活性化機能を強化する ～ロケ地ツアーの組成など

II 秋田市にフィルムコミッションを！



1 フィルムコミッションについての3つの誤解

秋田市にフィルムコミッションを設立し、地域を活性化しよう！

・・・しかし「秋田市フィルムコミッション」は実現していない。フィルムコミッションに関する**否定的なイメージ**を持つ人も

● フィルムコミッションについての3つの誤解

- ①フィルムコミッションは**観光地にあるべきもの** ～観光誘客（ロケツーリング）を狙うのは、観光地だから
⇒ 秋田市は観光地じゃないからFCはいらない

いいえ、映像の題材は観光スポットだけではありません。

※深作欣二監督 秋田市について「街中から車で15分も走れば山もあるし、海もある。

短い移動時間でいろいろな風景を撮影することができるのは、ロケ地としての強みになる。」

★秋田県一の観光地はどこでしょうか？

- ②フィルムコミッションは**お金（制作費）を出す組織** ～「釣りバカ日誌15」6千万円、「アイリス2」8千万円超
⇒ 予算がないからFCは作れない

いいえ、フィルムコミッションが提供するのはお金ではありません。

フィルムコミッションが提供するの「情報」、そして「連絡・調整機能」～FCの主な経費は人件費、Webサイト制作費

- ③フィルムコミッションには**効果がない** ～「アイリス2」も鳴かず飛ばずだった
⇒ 効果がないものにお金は投入できない

いいえ、フィルムコミッションは費用対効果（CP）の高い施策です。

フィルムコミッションの費用は限定的、効果は時として非常に大きい…例：「アイリス」

2 フィルムコミッションのその先へ – 映像産業の振興 –

● 特色ある映像制作企業 … (例)

- ・アウトクropp (AIU卒業生)、東北映像秋田 (TV番組・CM、地域PR)、ゼロニウム (3DCG、プロジェクションマッピング) など
- ・2020年4月 アニメ制作スタジオ：つむぎ秋田アニメLab、GAKIproAstudio が秋田市に拠点設置

● MIRROR LIAR FILMS AKITA (未来創造人材育成・映像プロモーション事業)

- 映像制作を通じて学生や若いクリエイターの挑戦を応援するプロジェクト (秋田市 [人口減少・移住定住対策課](#))
- ・2023年夏 秋田市で竹中直人監督「たてこもり」、大橋裕之監督「変哲の竜」を制作 → オムニバス映画 (シーズン5)
 - ・2023年9月 ↑ 参加した学生たちがワークショップを開催、短編映画「参画屋の仔羊たち」を制作
 - ・2024年秋公開予定「シーズン6」の短編映画を秋田市で撮影 ~ 監督：小栗旬さん、浅野忠信さん

● 秋田を「映像県」に

成田洋一氏 ~ 秋田市出身、CMディレクター・映画監督

「光を追いかけて」(2021年)「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」(2023年) 日本アカデミー賞受賞

「光を追いかけて」の後、県内で「クリエイティブで世界を救う」をテーマにしたプロジェクトに取り組んでいます。

僕はあきたを映像県にしたいんです。

業界で活躍する若者を応援しながら、ワークショップも開催し、将来は秋田県人だけで映画を作りたいとも考えています。

(「Atle DELTA」トークイベント、秋田さきがけ 2024.6.3)

⇒ ロケ誘致、観光誘客にとどまらず、**フィルムコミッションを核にして秋田市の映像産業を振興しましょう**

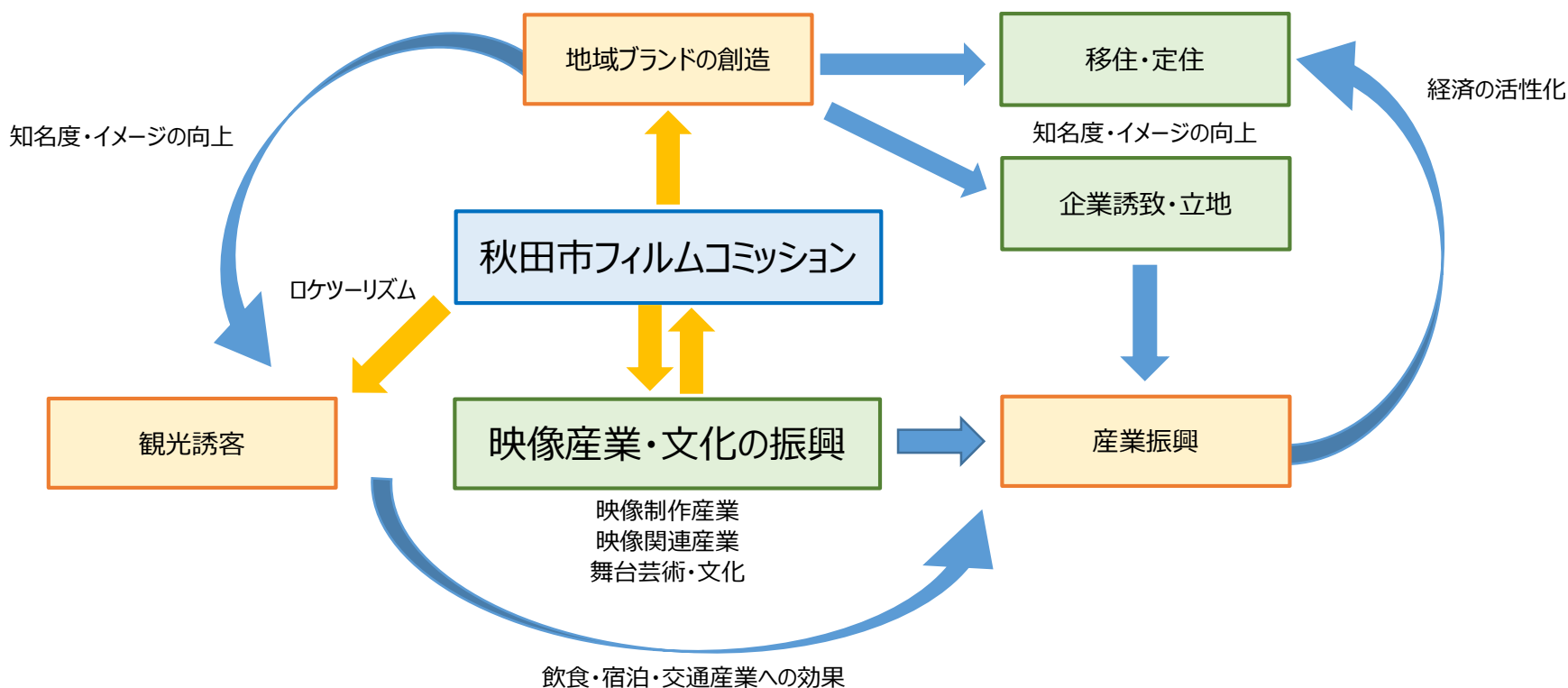
★ **組織横断的な取り組み**が必要 ~ 産業振興、移住定住、観光振興の垣根をはらうプロジェクト

3 「秋田市フィルムコミッション」を核にして地域を活性化しましょう！

以上をまとめると…

フィルムコミッションは、「地域ブランド」創造、観光誘客、産業振興にとって効果が高い。

⇒ 「秋田市フィルムコミッション」を設立し、同時に映像産業を振興して、地域を活性化しましょう！



◎ 参考資料、連絡先

【参考資料】

- 「本県におけるロケツーリズムとフィルムコミッションの動向と課題」 あきた経済 2017年6月号
- 「秋田県内の映像制作産業の動向」 あきた経済 2021年8月号
- 「秋田県内のアニメ制作スタジオの動向」 あきた経済 2021年8月号
- 「手持ちの資源から発想する交流拠点づくり」 あきた経済 2024年6月号
- 「フィルムコミッションと地域振興に関する調査研究」 社団法人 中小企業診断協会 秋田県支部 2005年1月
<https://www.j-smeca.jp/attach/kenkyu/shibu/h16/akita.pdf>

【連絡先】

一般財団法人 秋田経済研究所 リサーチフェロー 荒牧 敦郎
TEL: 018-863-5561 E-mail: a-aramaki@akitakeizai.or.jp

株式会社 あきぎんリサーチ&コンサルティング チーフコンサルタント 荒牧 敦郎
TEL: 018-863-1221 E-mail: atsuru.aramaki@akigin-r-c.co.jp